

WMI I の修復方法

はじめに

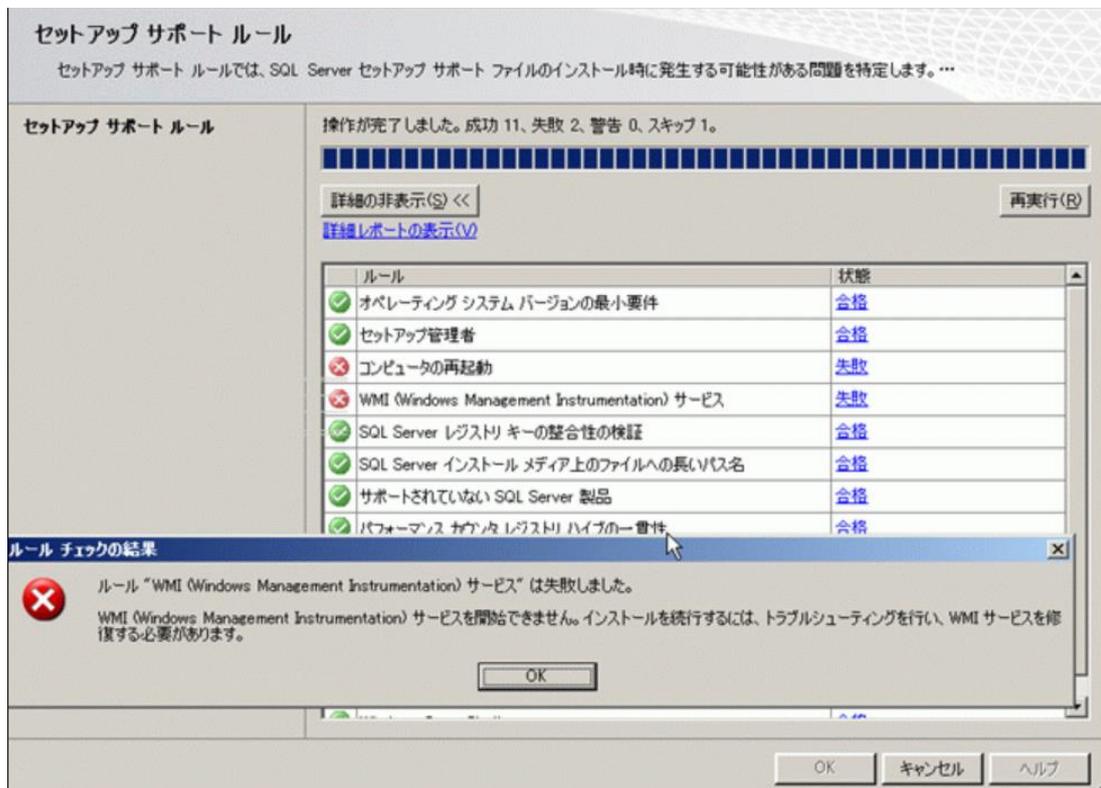
サービスの起動時やアプリケーションのインストールの際に、WMI(※1)のサービスが停止している場合や、WMI が壊れていることで WMI のサービスが開始できない場合に、サービスの起動やインストールができないこと(※2)があります。

このような場合は、WMI の修復が必要になります。

(※1) Windows Management Instrumentation の略です。

Windows の標準機能で、OS やコンピュータに関する様々な情報の取得や設定を行えるインターフェースです。

(※2)例えば、SQL Server のインストール時に、WMI が壊れていてインストールができない場合があります。



当手順書では、WMI サービスの確認と修復方法について説明します。

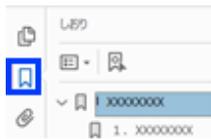
目 次

I	ローカルの WMI サービスの確認.....	1
II	Windows Event Log と Windows Management Instrumentation サービスの確認.....	2
III	リポジトリの再構築.....	4
IV	mof、mfl ファイルのリコンパイル.....	5
V	DLL の再登録.....	6

【ご参考】PDFのナビゲーション(しおり)の表示方法

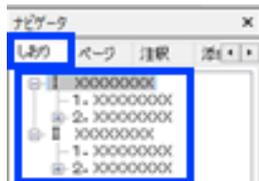
1. Acrobat Reader の場合

- (1) F4 キーを押下して「ナビゲーションパネル」を表示します。
- (2) 「しおり」ボタン(下記赤枠)をクリックし、しおりを表示します。
(※)しおりが設定されていない場合、「しおり」ボタンは表示されません。



2. SkyPDF Viewer の場合

- (1) メニューの「表示(V)」>「ナビゲーター(N)」をクリックします。
- (2) 「しおり」タブを選択します。
(※)しおりが設定されていない場合、「しおり」タブには何も表示されません。



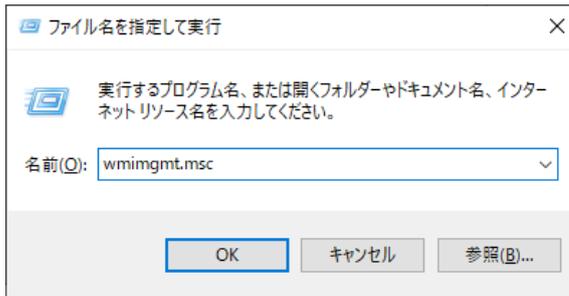
1. WMI サービスの確認

1. 「Windows キー + r」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。

※Windows キーは、キーボード左下の窓マークのキーです。

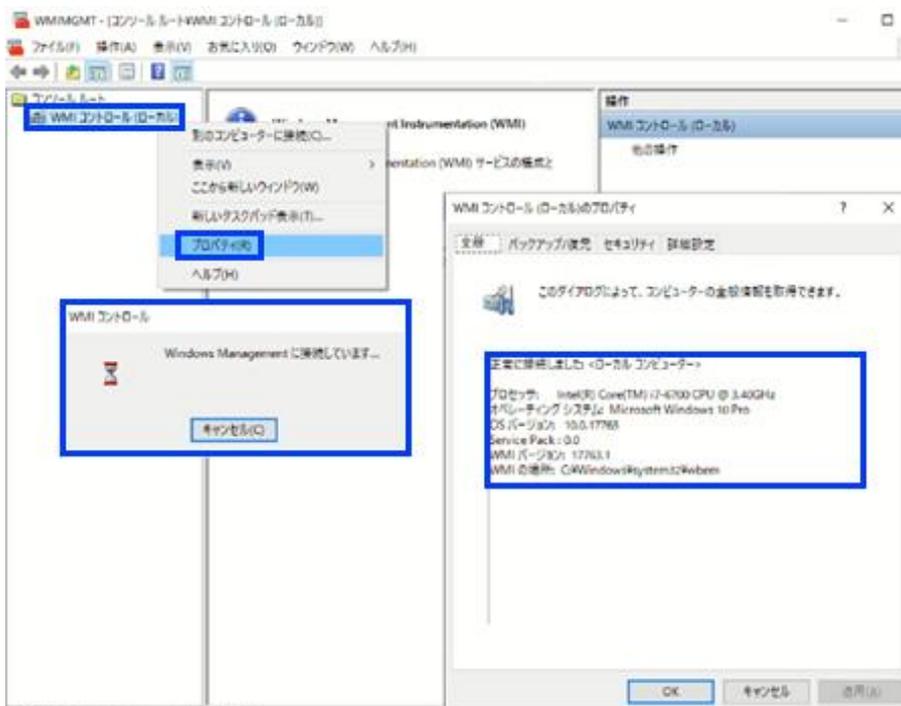
2. 「名前」欄に、「wmimgmt.msc」と入力して OK を押下します。

(「r」は入力不要です。)



3. [WMI コントロール(ローカル)]を右クリックし、[プロパティ]を選択します。

4. WMI サービスが構成されていれば、下記のように WMI サービスに接続しているダイアログが表示され、下記のプロパティ画面が表示されます。

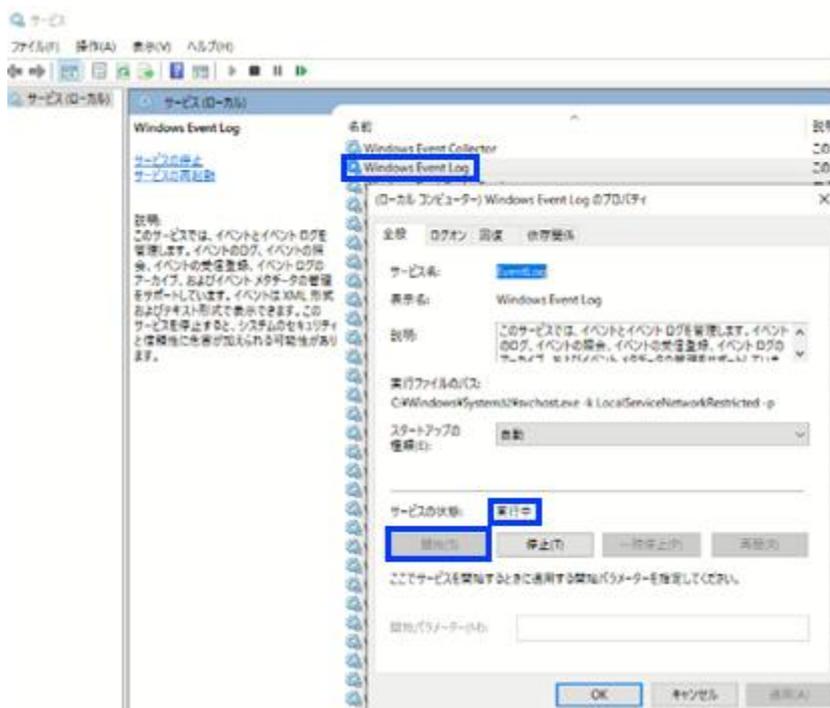


上記でエラーになる場合は WMI の修復が必要となります。

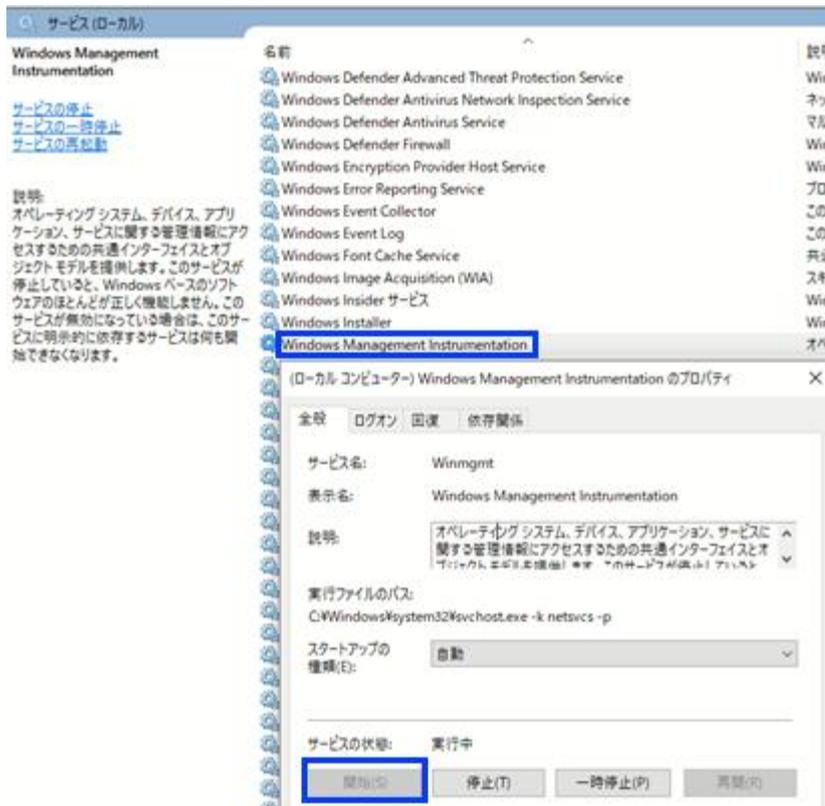
また、エラーが出ない場合でも、WMI が利用しているレポジトリのデータが一部破損している場合があるため、引き続きⅡを確認します。

II Windows Event Log と Windows Management Instrumentation サービスの確認

1. 「Windows キー + R」で「ファイル名を指定して実行」画面を表示します。
2. 「名前」欄に、「services.msc」と入力して OK を押下します。（「R」は入力不要です。）
3. 「Windows Event Log」の行をダブルクリックし、プロパティ画面を表示します。
4. 「スタートアップの種類」が「自動」になっていない場合は「自動」にしてください。
5. 「サービスの状態」が「停止」の場合は、「開始(S)」ボタンを押下し、サービスを開始させ、当該プロパティ画面を「OK」ボタンで閉じます。



6. 引き続き、「Windows Management Instrumentation」の行をダブルクリックし、プロパティ画面を表示します。
7. 「スタートアップの種類」が「自動」になっていない場合は「自動」にしてください。
8. 「サービスの状態」が「停止」の場合は、「開始(S)」ボタンを押下し、サービスを開始させ、当該プロパティ画面を「OK」ボタンで閉じます。



9. 再度、エラーとなる処理を行っていただき、WMI のエラーが解消されるかどうかご確認ください。

同様のエラーとなる場合は、引き続きⅢを確認します。

Ⅲ リポジトリの再構築

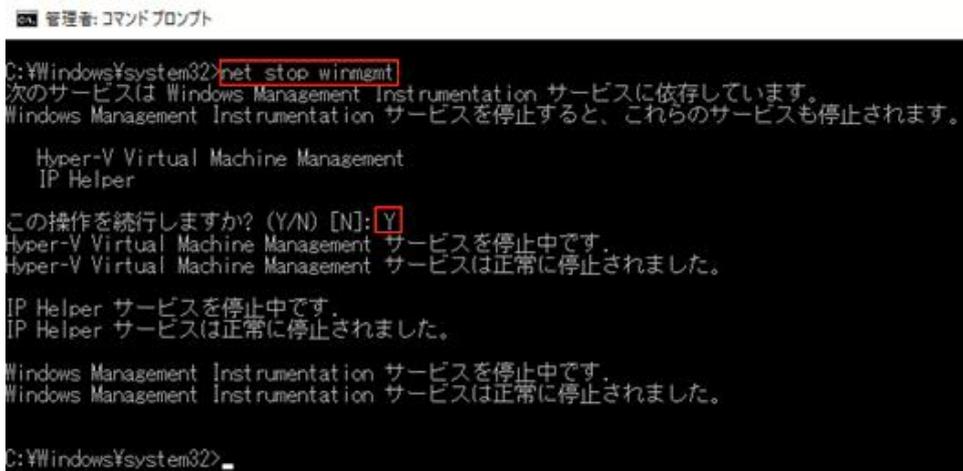
1. コマンドプロンプトを管理者として実行します。

「スタートメニュー」>「Windows システムツール」>「コマンドプロンプト」>
右クリックして「その他」>「管理者として実行」をクリック

2. 下記コマンドを実行し、WMI サービスを停止します。(「|」は入力不要です。)

```
「net stop winmgmt」
```

操作を続行するか確認された場合は、「Y」と入力してください。



```
管理者: コマンド プロンプト
C:\Windows\system32>net stop winmgmt
次のサービスは Windows Management Instrumentation サービスに依存しています。
Windows Management Instrumentation サービスを停止すると、これらのサービスも停止されます。

Hyper-V Virtual Machine Management
IP Helper

この操作を続行しますか (Y/N) [N]: Y
Hyper-V Virtual Machine Management サービスを停止中です。
Hyper-V Virtual Machine Management サービスは正常に停止されました。

IP Helper サービスを停止中です。
IP Helper サービスは正常に停止されました。

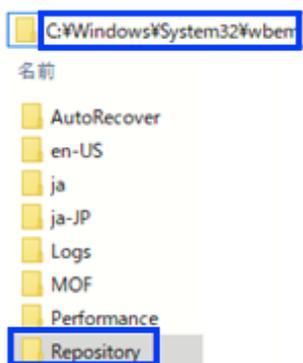
Windows Management Instrumentation サービスを停止中です。
Windows Management Instrumentation サービスは正常に停止されました。

C:\Windows\system32>
```

3. 「Windows キー + e」で「エクスプローラー」を表示します。

4. 下記のフォルダをリネームしてください。(例えば「@Repository」など)

```
C:\¥WINDOWS¥system32¥wbem¥Repository
```



5. 一度 PC(OS)を再起動します。

6. 再度、エラーとなる処理を行っていただき、WMI のエラーが解消されるかどうかご確認
ください。同様のエラーとなる場合は、引き続きⅣを確認します。

IV mof、mfl ファイルのリコンパイ

1. コマンドプロンプトを管理者として実行します。

「スタートメニュー」>「Windows システムツール」>「コマンドプロンプト」>
右クリックして「その他」>「管理者として実行」をクリック

2. 下記の2つのコマンドを実行してください。(「」は入力不要です。)

「cd /d %windir%\system32\wbem」

CA 管理者: コマンドプロンプト

```
C:\Windows\system32>cd /d %windir%\system32\wbem
C:\Windows\System32\wbem>
```

「for %i in (*.mof,*mfl) do Mofcomp %i」

CA 管理者: コマンドプロンプト

```
C:\Windows\System32\wbem>for %i in (*.mof,*mfl) do Mofcomp %i
C:\Windows\System32\wbem>Mofcomp aeinv.mof
Microsoft (R) MOF Compiler Version 10.0.17763.702
Copyright (c) Microsoft Corp. 1997-2006. All rights reserved.
MOF ファイルの解析中: aeinv.mof
MOF ファイルが解析されました
データベースにデータを格納しています...
完了
C:\Windows\System32\wbem>Mofcomp AgentWmi (1).mof
Microsoft (R) MOF Compiler Version 10.0.17763.702
Copyright (c) Microsoft Corp. 1997-2006. All rights reserved.
```

※ コンパイルの作業経過がしばらく表示されるのでしばらくお待ちください。

3. 「Windows キー + e」で「エクスプローラー」を表示します。

4. 下記のファイルに、コンパイルエラーが表示されていないことを確認します。

※Mofcomp.log が作成されていなければ確認不要です。

C:\WINDOWS\system32\wbem\Logs\Mofcomp.log

5. 一度 PC(OS)を再起動します。

6. 再度、エラーとなる処理を行っていただき、WMI のエラーが解消されるかどうかご確認
ください。

同様のエラーとなる場合は、引き続きVを確認します。

V DLL の再登録

1. コマンドプロンプトを管理者として実行します。

「スタートメニュー」>「Windows システムツール」>「コマンドプロンプト」>
右クリックして「その他」>「管理者として実行」をクリック

2. 下記の2つのコマンドを実行してください。(「|」は入力不要です。)

「cd /d %windir%\system32\wbem」

CA 管理者: コマンドプロンプト

```
C:\Windows\system32>cd /d %windir%\system32\wbem
C:\Windows\System32\wbem>
```

「for %i in (*.dll) do RegSvr32 -s %i」

CA 管理者: コマンドプロンプト

```
C:\Windows\system32>cd /d %windir%\system32\wbem
C:\Windows\System32\wbem>for %i in (*.dll) do RegSvr32 -s %i
C:\Windows\System32\wbem>RegSvr32 -s appbackgroundtask.dll
C:\Windows\System32\wbem>RegSvr32 -s cimwin32.dll
C:\Windows\System32\wbem>RegSvr32 -s DMWmiBridgeProv.dll
C:\Windows\System32\wbem>RegSvr32 -s DMWmiBridgeProv1 (1).dll
C:\Windows\System32\wbem>RegSvr32 -s DMWmiBridgeProv1.dll
```

※dll の登録作業の経過がしばらく表示されるのでしばらくお待ちください。

3. 一度 PC(OS)を再起動してください。

4. 再度、エラーとなる処理を行っていただき、WMI のエラーが解消されるかどうかご確認ください。

上記方法でも WMI のエラーが解消されない場合は、OS の修復や復元ポイントから以前のシステム状態に戻すことでエラーが解消される可能性があります。

現在の状況の確認と他の対応方法を検討させていただきますので、お手数ですがヘルプデスク(renketsunouzei@tkc.co.jp)までご連絡をお願い致します。

以上